

チーム名	奥山ゼミ	大学名・学部	明治大学政治経済学部	福島復興ステージ
プラン名称	きど あいらく(KIDO I LIKE)			
テーマ	復興に向け前向きに取り組んでいる方と連携した「観光まちづくり」			
リーダー名	藤花実	メンバー名	中村富、殖栗和也、稲村美玖、松本真子、阿久津愛美	
指導教職員名	奥山雅之			

檜葉町と川内村の選定理由

- 魅力的な資源が豊富にあるから。
- ハード面に比べてソフト面が少ないから。
- 地域振興期にあり、観光や移住促進に取り組む段階に到達しているから。
- 学生との連携に積極的だから。
- 地域の人々の心よりどころであり、二つの町をつなぐ「木戸川」をふくしま12市町村の観光復興の玄関口にしたいから。
- すでに木戸川を活用した「あそび」を地域の方々が開拓しようとしているから。

課題：人手不足によって豊富な観光資源を十分に活用できていない

担い手を地域外から集め、育てることが必要

ターゲット
若者（大学生や社会人）

新規性

- 木戸川を生かした共創リレー型プラン
- スタディツアーで訪問する学生をメタバースに集めて組織化すること
- 地域の人々と深く関わること

共創リレー型観光

共創
地域内外の人が一緒に「観光」をつくりあげる

リレー
地域外の若者が他の若者に魅力を伝える

プラン概要



プランの実現手段

- メタバース
- 仮想空間をによって地域内外の交流や連携を容易にする
 - 復興の過程や思い出共有、活動記録が可能

- デジタルマップ
- イベントの詳細が分かりやすい

効果・影響

- 3年で合計6億2260万円の経済効果と約34人の通年雇用の促進
- 移住者の増加

檜葉移住促進事業における令和5年度予算案について協議中